



総務委員会では、協会会員の満足度向上のため、新入会員歓迎会や新入会員ガイダンス、理論政策更新研修などの様々なサービスを提供しています。特に、本年度は当協会の初めての試みとして、新入会員ガイダンスを新入会員歓迎会と同日開催とし、開催日も企業内診断士の皆様でもご参加頂きやすい土曜日に変更しました。また、本年度も「経営診断実務研修」を開催する予定です。「経営診断執務研修」は、主に企業内診断

士の皆様を対象にしたサービスで、「実務従事ポイント」の取得を支援するものです。ポイント取得の機会のない方、または経営診断実務の経験をご希望の方の受講をお勧めします。詳細につきましては、近日中に送付します「診断実務研修のご案内」をご覧ください。受講者数に定員がありますので、受講希望の方はお早めにお申し込み下さい。（総務委員会 加山 晴猛）

新事務局長のご紹介

この度、事務局長を拝命することになった梶野 渉です。昭和30年10月29日生まれの方。今、5回目の年男です。相良前会長、日下前事務局長とおなじ広告会社に勤務していた縁で、声をかけていただきました。主に、イベント事業の業務を数多く手掛けていました。55歳で定年退職をした後、ぬるま湯暮らしのせいで、脳みそが事務局モードになるのに時間がかかりそうですが、当協会の円滑な運営と発展に寄与できるよう頑張ります。ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。



今後の予定

セミナー

スキルアップセミナー

日 程	会 場	テ ー マ	講 師
7月16日(土)	県民会館鶴の間	ファシリテーション	兵庫県立大学教授 西井進剛氏 日本ファシリテーション協会会員 佐野佐知子氏
10月22日(土)	県民会館1201		つば国際特許事務所 長谷部政男 弁理士

※スキルアップセミナーは7月～1月の間に全部で7回程度の開催を予定しています。
※代表:田中秀和hide-kazu-0285@maia.eonet.ne.jp

オープンセミナー

日 程	会 場	テ ー マ	講 師
7月9日(土) 午後	県民会館	中小企業白書セミナー	中小企業庁調査室 伊奈友子室長

※代表:田中秀和hide-kazu-0285@maia.eonet.ne.jp

研究会スケジュール

問い合わせ先：078(362)6000

● 診断技術向上研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
6月 9日(木)	県民会館B101	コミュニケーション心理学(交流分析)②	富田将美
7月14日(木)	県民会館302	コミュニケーション心理学(交流分析)③	富田将美
8月10日(水)	県民会館302	コミュニケーション心理学(交流分析)④	富田将美
9月 8日(木)	県民会館302	コミュニケーション心理学(交流分析)⑤	未 定
10月13日(木)	県民会館302	コミュニケーション心理学(交流分析)⑥	未 定

※開催日は原則、毎月第2木曜日 18:30～20:30
※連絡先：高槻 仁志 takatsuki@tokbs.jp

● 地域産業活性化研究会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
6月1日(水)	未 定	未 定	研究会員全員
7月6日(水)			

※開催日は原則、毎月第1水曜日 8:30～20:30
※連絡先：代表 大場 一正 kohba@alles.or.jp
(今年度の会員募集は締め切りました)

● 青年部会

日 時	場 所	テ ー マ	講 師
6月6日(月)	ひょうご産業活性化センター7階	未 定	全 員

※開催日は原則、第1月曜日 19:00～21:00
※参加資格：49歳以下の支部会員
※連絡先：内藤 敏 info@genba-ism.com

編集後記

診断ひょうごは、今号からカラーになりました。いかがでしょうか。どのような色使いをすれば格好良くてスマートに見え、かつ読みやすいか、悩むところです。会員の皆様のご意見を是非お聞かせください。(湯)

No.108
平成28年6月15日発行

診断ひょうご

一般社団法人 兵庫県中小企業診断士協会 発行者 柴谷 真治
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-8-4 神戸市産業振興センター8F
TEL (078) 362-6000 FAX (078) 361-8722 URL: http://www.shindan-hg.com

新執行部体制がスタート

一般社団法人兵庫県中小企業診断士協会 会長 柴谷 真治

本年5月25日の第5回社員総会で、新たな役員として20名の会員が理事に承認され、同日の臨時理事会にて、それぞれの役割を次のとおり決めました(敬称略)。

会 長	柴谷真治
副 会 長	高槻仁志(総務担当) 松浦敏貴(会員研修・広報担当) 藤田勉(受託開発担当)
常任理事	加山晴猛(総務委員長) 田中秀和(会員研修委員長) 湯浅伸一(広報委員長) 植田訓行(受託開発委員長)
理 事	畑 英樹、前田 充、志水功行(総務委員) 瀧澤精一、伊藤康雄、乾 竜夫 (会員研修委員) 亀井芳郎、清水通代、塔筋幸造 (広報委員) 小畑秀之、内藤敏、西本文雄 (受託開発委員)

以上20名の理事にて協会運営の執行部を構成し、総務、会員研修、広報、受託開発の4委員会を中心に活動して参ります。何卒、宜しくお願い申し上げます。



社員総会で挨拶をする柴谷会長
(5月25日、神戸市産業振興センター)

また、当協会の会計を含めた業務監査を担っていただく監事には、これまでに引き続いて蔭山正至氏、および、新たに前期まで会長を務めていただきました、相良紘氏に担当いただくことになりました。

更に、協会事務局は、過去4年間にわたり事務局長を務めていただいた日下藤吉氏に代わって、新たな事務局長として梶野渉氏を迎え、これまでも事務を担っていただいている田中幸子氏とともに事務局機能を担っていただく体制としました。

得意分野の視点の共有を

このように当協会是一个の節目を迎えたところですが、今後も会員組織として、資格保有者の団体として、仕事機会の創出、資格の維持・価値向上のための情報提供などに取り組んでいく所存です。

会員の皆様も、それぞれ異なるきっかけではあるでしょうが、何らかの思いを持たれて、この国家資格を目指され、努力され、取得されたものと思います。今一度、資格を目指された時のお気持ちを思い起こしていただき、企業内診断士・独立診断士それぞれのお立場で、協会活動に積極的にご参加いただくとともに、今後の資格活用などにつき、いろいろなご意見・ご提案をわれわれ執行部にお聞かせいただければ有り難く存じます。

われわれの資格は、会計・税務・法務・労務など特定の業務分野に特化した他資格とは異なり、人事・生産・販売・情報など、幅広い経営要素が活動対象とされています。それぞれの得意分野での視点を、協会組織として会員の皆様と共有することも、組織価値の一つと考えております。

上記の理事20名は、会員の皆様のご意見をお聞かせいただく窓口であり、またそれらのお考えを執行部として検討する会員代表の立場でもあります。協会活動を通して、ぜひ私たち執行部と身近に、そしてお気軽に対話くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

新入会員紹介

網屋 浩二（あみや こうじ）



みなさま、こんにちは。平成24年4月に診断士登録しました網屋浩二です。昨年まで大阪の家電メーカーに勤めていましたが、兵庫県の船舶用電子機器メーカーへの転職に伴い、兵庫県中小企業診断士協会に入会させていただきました。実家も親戚もみな漁師ということもありますが、今後は水産業の経営診断の専門家として漁業の発展と地方を元気にするためにお役に立ちたいと思っています。今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

池淵 ゆかり（いけぶち ゆかり）



西宮市の甲子園出身。2015年独立。勤務時代には財務・会計を中心に人事・労務などの管理業務を幅広く経験したことで、全体最適を得意としています。業務効率化のためのIT導入にも多く携わり、エンドユーザーコンピューティングを推進しました。独立後は主にビューティービジネスなど、女性の創業支援や事業計画作成支援をして参りました。今後とも伴走型のご支援を目指して邁進して参りますのでよろしくお願いいたします。

岩井 宗徳（いわい むねのり）



ウイングス・コンサルティングの岩井宗徳と申します。ITコンサル企業から独立して5年目になります。今は神戸を中心に情報システム開発の支援やネットショップの売上向上をお手伝いさせていただいています。今後は単なるITのプロでなく経営や戦略の視点からIT活用を推進できるプロが社会に必要と確信し診断士を志しました。厳しくても自らが成長できる仕事に積極的に携わっていきたいと思っていますので、もし機会があればお声がけいただければ幸いです。弊社HP(<http://wings-consulting.jp>)

内海 政嘉（うつみ まさよし）



本年4月に入会しました。株式会社クリエーション（コンサルティング会社）の代表をしています。電機メーカーでの新規事業立ち上げ、品質やコスト改善の経験を活かし、25年間経営コンサルタントとして、中堅企業の経営改革や現場改善の仕事をしています。最近、改革の実現はもとより、生産性向上や原価低減など、より大きな成果につながる支援をとの思いで、現場の方と一緒に改善を行っています。どうぞよろしくお願いいたします。

糟谷 豊（かすや ゆたか）



10年目の更新を機に、東京から加古川（実家近く）に事務所を移転しました。創業支援、相続・事業承継（CFPとして）を中心に顧問活動をしており、東京商工会議所の「知的資産経営報告書」作成支援では、HPIに掲載する5例示中2社が私の仕事です。加古川東高校や京都大学の同窓生の紹介を得て、徐々に関西シフト中です。まだ東京での仕事が7割以上という状況ですが、余生は故郷の活性化に貢献する所存です。よろしくお願いいたします。

加味 浩志（かみ ひろゆき）



昨年入会させて頂いた加味浩志と申します。一昨年にプロコン育成塾を受講し、プロコンの基礎を教えて頂き、昨年独立開業いたしました。独立後は、商工会議所等でのセミナーやヒューマン・アセスメントの研修講師、飲食業の支援等をさせて頂いております。専門分野は飲食業と印刷業です。「傾聴力」をベースにヒアリングで想いを引き出し、経営者と共に歩む診断士として活動しています。

小島 勉（こじま つとむ）



昨年度の中小企業診断士試験に合格し、本年4月より本協会に入会させていただきました小島勉と申します。現在は、食品卸の会社に勤務しております。「農商工連携」や「地域活性化」に何か貢献できることはないか日々模索する毎日です。“Think globally, Act locally.”をモットーに地域に根差した活動を目指し、プロコン育成塾にも参加したいと考えています若輩者ではございますが、ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

佐々木 信也（ささき しんや）



平成27年4月に診断士登録、6月に入会致しました。コンピュータメーカーに22年間勤務した後、平成20年に流通デザイン株式会社を設立、現在はロジスティクスおよび、情報システムのコンサルティングをしています。まだ、中小企業診断士らしい仕事はできていませんが、ものづくり&SCM研究会や会員研修セミナーに出席させて頂き、色々なことを学ばせて頂いています。地元企業の繁栄に貢献できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

杉 浩行（すぎ ひろゆき）



自治体向けコンサルとして20年近く携わり、様々な調査・計画策定を経験しました。その後、診断士として独立しましたが、早や7年が経ちました。現在は、評価書作成や市場調査、申請書の作成支援、論文審査等に携わっています。また、公的機関では創業支援を5年間携わってきました。1次産業から3次産業まで業種は問いませんが、小規模な中小企業や創業者の支援が活動の中心となっています。どちらかというと、話すよりは書く方が性分にあっているようです。

瀬戸 文雄（せと ふみお）



診断士登録は平成10年とだいぶ古くなりました。5年前に電力機器メーカーを定年退職し独立しました。孤軍奮闘頑張ってまいりましたが思わしい結果は出ておりません。40年余り勤めた会社の経験を活かし、ものづくりとエネルギーに基づいた環境問題を中心に活動したいと思っています。大阪府中小企業診断協会ではモノづくり研究会を設立当時から12年間活動してまいりました。この経験も活かしたいと思っています。よろしくお願いいたします。

多田 やす子（ただ やすこ）



英会話の学校運営や英国での日本食惣菜店での経営支援などの経験を活かし、平成17年11月1日に中小企業診断士を取得。香川県を中心に活動しておりますが、昨年9月から、関西エリアにも拠点を設け、創業支援から企業再生に至るまで、国内だけでなく海外まで幅広く販路拡大、効果的な経営資源の活用、多様な経営課題を経営者と共に解決していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

寺田 茂樹（てらだ しげき）



皆様、こんにちは。私は、今年の3月に中小企業診断士登録を済ませて、5月に当診断士協会に入会させていただきました寺田茂樹です。住所は、姫路市です。長年、製造会社に勤めていましたが、今後は、こころ新たに経営者ニーズに共に応える地域密着の診断士を目指したいと思っています。皆様に御教えを受けながら協会活動にも役立つよう頑張ります。今後ともよろしくお願いいたします。

中尾 博一（なかお ひろかず）



平成25年に診断士登録、26年独立開業。兵庫県中小企業診断士協会には平成27年に入会しました。主に事業再生を手がけており、製造業、建設業、小売業等、多様な業種の企業を支援しています。前職での経験もあり、最近では印刷業の支援を行うことが多くなっています。また、中小企業組合の活性化支援や研修講師、ビジョン・中期計画等の策定支援等も行っています。拠点は大阪ですが、兵庫県の皆様のお役にも立てれば幸いです。

野田 勝也（のだ かつや）



今年4月に東京都中小企業診断士協会の中央支部から転入して参りました。元々は金融機関の出身ですが、金融機関の整理や債権の回収・再生をする機関、企業の再生の支援をする機関等を経て、昨年4月に独立しました。この数年「金融円滑化法」の下で多くの返済猶予がなされてきましたが、そのなかでも経営資源の不足している中小事業者層に対して、専門家がしっかりと寄り添って経営改善をサポートできる仕組みの構築を進めているところです。

堀 博夫（はなわ ひろお）



長年、国際分野で活動してきました。27年間の総合商社勤務（機械・建設部門）、12年間の食品会社勤務、4年間の公的支援機関勤務を経て、昨年4月に独立しました。アジア諸国への機械・食品の輸出、米国・欧州・豪州からの食品・農産物・化粧品等の輸入と国内販売を経験しました。5月には経営革新等認定支援機関として登録いたしました。今後は海外展開にとどまらず、幅広い分野での活動を希望しております。なににとぞよろしくお願いいたします。

東 勝美（ひがし かつみ）



平成27年10月に診断士登録しました。某企業にて、ガスタービンの設計、プラントの設計・プロジェクト管理などに従事してきた系系人間です。工作上、知己となる中小企業経営者の方々の支援ができればと、60歳を超えての登録となりました。年齢上、実働期間は短いと思いますが、現在までの職務経験も踏まえ、どのような立ち位置のコンサルタントを目指すか、協会を通じて諸先輩方のスキルを学びつつ、考えたいと思います。

平位 稔之（ひらい としゆき）



昨年3月に兵庫県立大学大学院中小企業診断士登録養成課程を卒業し4月に登録、7月に協会に入会いたしました。姫路市で2代目経営者として「太平工材株式会社」というステンレス・アルミニウム専門の鋼材屋を経営しております。現在は診断士としての活動は限られていますが、これから経営者としても診断士としても成長し、将来は顧客である地元の中小ものづくり企業の経営支援を行い、地域経済の発展に貢献したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

廣瀬 達也（ひろせ たつや）



昨年10月に診断士登録を行い、今年1月に会員となりました。兵庫県内の養父（やぶ）市出身。現在は神戸市在住です。東京本社の通信系IT企業社員ですが、昨年1月より神戸市内のお客様先に出向しています。約30年ぶりに兵庫県に戻ってきました。これまでは行政・自治体分野のお客様向けシステムの提案などを行って来ましたが、地域活性分野に関心があり、その分野での診断士としての活動に関わりたと思っています。よろしくをお願いします。

吉本 秀次郎（よしもと しゅうじろう）



大阪府中小企業診断協会より移ってきました。自己研鑽に努め、地域に貢献していく所存ですのでよろしくお願いいたします。得意分野はコンビニエンスストア店長の経験を生かした、小売業や飲食業の店舗オペレーション面を中心とする経営全般の支援です。今後は、小売業の経営支援を核にビジネスモデルキャンパスなどのツールやITの知識を活用し中小企業のみならず的確で有用な支援活動を提供していきます。

このほか、川瀬宏和、小林武史、高山吉和、戸田拓也、中原誠、藤原健太郎、松田淳、溝口和也、三宅真司、宮崎和宣の10氏も入会されました。

新会長に柴谷真治氏 第5回社員総会が開催

(一社)兵庫県中小企業診断士協会第5回社員総会が、平成28年5月25日に神戸市産業振興センターにおいて開催されました。

第1号議案「平成27年度事業報告書及び決算計算書の承認に関する件」についての報告と会計監査の結果報告があり、採決の結果第1号議案は可決承認されました。第2号議案「平成28年度事業計画(案)及び収支予算書(案)の承認に関する件」、第3号議案「定款及び会費規程変更の承認に関する件」について説明があり、採決の結果可決承認されました。第4号議案「役員選任に関する件」について審議が行われ、原案通り20名の理事と2名の監事が選任されました。

この後、総会理事会が開催され柴谷真治会長および松浦敏貴、高槻仁志、藤田勉副会長が選任されたことが総会に報告されました。

閉会に先立ち、ご来賓としてご臨席いただきました兵庫県産業労働部産業振興局経営商業課課長 洲上茂也様、(公財)神戸市産業振興財団専務理事 小林隆一郎様よりご祝辞を賜りました。

最後に、藤田副会長が閉会のあいさつを行い、第5回社員

総会は滞りなく終了いたしました。

総会終了後、神戸市産業振興センター・レセプションルームに会場を移し懇親会が催されました。

懇親会には、兵庫県産業労働部、(独法)中小企業基盤整備機構近畿本部、(公財)ひょうご産業活性化センター、(公財)神戸市産業振興財団、兵庫県商工会連合会、神戸商工会議所、兵庫県信用保証協会、商工組合中央金庫神戸支店、日本政策金融公庫神戸支店、日本政策金融公庫国民生活事業本部、近畿税理士会神戸支部、日本弁理士会近畿支部兵庫地区、兵庫県立大学大学院、兵庫県信用組合、兵庫県議会よりご来賓の参会を賜り、ご来賓を代表して(公財)ひょうご産業活性化センター理事長 榎本輝彦様、(独法)中小企業基盤整備機構近畿本部近畿本部長 中島龍三郎様、兵庫県議会議員産業労働政策委員 福島茂利様より我が協会の中小企業に対する経営支援活動について期待と叱咤激励のお言葉をいただきました。

参会した会員諸氏は、ご来賓の方々との対話を通じ交流を深めさせていただくとともに、和やかな一時を過ごしていました。(総務委員長 加山晴猛)

新理事紹介

新体制のスタートにあたり、新たに以下の4人が理事になりました。(五十音順)

乾 竜夫 (いぬい たつお)



このたび、新しく理事に就任させていただくことになりました乾竜夫と申します。

私は大学を卒業後、ITベンダーで24年間勤務し、平成26年5月に独立いたしました。会社員時代は、一貫してユーザー企業のシステム開発に従事しておりました。独立後は、その経験を活かし、IT経営コンサルタントとして活動しております。中小企業診断士登録は、平成19年で10年目を迎えました。企業内診断士時代は、企業内診断士にとっても魅力的な協会となることを目標に、会員研修委員として活動を続けてきました。今後は、理事として当会の益々の発展に尽力させていただきと思いますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

志水 功行 (しみず のりゆき)



このたび、理事に就任させていただくこととなりました志水M&Lパートナーズの志水功行です。私は甲南大学を卒業し、画筆メーカーでの海外営業と、スリランカ工場での3年間の駐在を経験してきました。その後、日本製品専門の輸出商社に勤め、海外営業に従事し、平成22年に独立しました。平成26年には創業補助金兵庫県事務局を経験させていただきました。現在は、「経営者の良きパートナー」として、経営者の悩みを解決できるコンサルタントとして活動しております。今後は、理事として当会の発展と会員の皆様の満足度向上のために魅力ある協会の運営に尽力したいと思っております。微力ではありますが、何卒よろしくお願いいたします。

西本 文雄 (にしもと ふみお)



このたび理事を拝命しました西本文雄と申します。

私の強みは、総合電機メーカーでの製造オペレータ、生産管理、購買企画の経験から“つくる”“買う”、公的支援機関での販路開拓支援経験から“売る”ための多様な知識と経験です。現在は主に製造・小売業の経営戦略の策定・改善、人材育成、新分野進出、創業支援活動に従事しています。めまぐるしく変化する経営環境を生き抜くためには、したたかな戦略によるあくなき追求が求められます。会員の皆様や地域社会のそのような挑戦に対し、お役に立てるよう誠心誠意努めさせていただきたく考えています。

前田 充 (まえだ みつる)



私は輸送機器メーカー勤務の後、還暦を過ぎて平成24年に診断士登録をしました。

その後プロコ宁育成塾に入れていただき、専門家派遣や調査事業などをさせていただいています。協会業務では総務委員会に所属しています。先ずは総務委員会委員として協会業務の準備、運営支援を進めるために努力し、加えて協会発展のために微力を尽くしたいと考えています。

実を申せば、還暦を超えた今は“YOUNGER THAN SPRINGTIME”に戻ったと都合よく考えています。しかし冷静に考えれば、診断実務・協会業務については経験の足りない若い春すなわち青二才ですので、皆様の倍旧のご指導を賜りますようお願い致します。

委員会紹介

兵庫県中小企業診断士協会には4つの委員会があります。委員会活動は会員の協力で運営しています。ご興味のある委員会活動に是非ご参加ください。お問い合わせは各委員会委員長にご連絡ください。

■総務委員会

<主な活動内容>

- ①協会会員のための諸手続、事務処理、及び諸情報のメール配信
- ②協会運営に関する諸規程や行事予定、名簿等の管理
- ③社員総会、理事会、常任理事会の準備・開催
- ④診断士登録更新研修の準備及び運営支援、及び更新支援業務の実施及び管理
- ⑤新入会員ガイダンス・歓迎会等の準備及び運営支援等
- ⑥各種懇親会、理事会新年会の準備及び運営支援
- ⑦経営診断実務研修の準備及び運営
- ⑧事務局との協力による支部活動の推進

総務委員会は、協会の活動全般を支援する重要な役割を担っています。メール配信を通じた各種情報提供の一部も行っています。今後とも、会員の皆様に「入っていて良かった」と思われるような、よりオープンでクリアな支部づくりに取り組んでいきます。当委員会は、支部の中核的組織のひとつであり、各種支部活動や公的機関、その他の情報に接触する機会も増えます。興味のある方は、ぜひ総務委員会にご参加ください。活動日:毎月原則第2火曜日18時30分から 協会事務局にて開催

(委員長:加山晴猛 harukay@silver.ocn.ne.jp)

■広報委員会

<主な活動内容>

- ①機関紙「診断ひょうご」の企画・編集・発行
 - ②協会ホームページの運営・管理
 - ③各種公的機関誌への原稿掲載の推進
 - ④facebook等SNSを活用した協会の広報活動
 - ⑤各種報道機関を通じた協会の広報活動
 - ⑥展示会への出展企画・運営
 - ⑦その他支部および協会会員の諸活動の広報活動
- 「診断ひょうご」やホームページ、SNS等を活用して協会や会員のPRをお手伝いし、中小企業診断士および協会の認知度向上を目指します。自由な意見・アイデアを基に、できることはどんどん取り組んでいきたいと思っています。文章を書くことや広報誌の編集、メディア対応に興味がある方は、ぜひ広報委員会にご参加ください。

活動日:毎月原則第2月曜日18時30分から 協会事務局にて開催

その他メールリストにて意見・情報交換
(委員長:湯浅伸一 shinyuasa@dream.com)

■会員研修委員会

<主な活動内容>

- ①オープンセミナーやスキルアップ研修などを通じた会員等のスキルアップ
- ②中小企業診断士としての新たなテーマ発掘
- ③中小企業診断士の業務拡大のための実践的セミナー
- ④企業内診断士のための活動支援
- ⑤中小企業支援機関との連携強化

中小企業診断士として活躍したい人は、委員会が主催するセミナーや、協会に所属する各種研究会などに積極的に参加し、人的ネットワークの拡大に努めるとともに、自身のスキルアップに努めてください。

また、企業内診断士のみなさんを中心にして運営するイベント「企業内診断士まつり“wasshi(わっしょい)”」を今年度も開催いたします。協会内外の多くの診断士のみなさんとふれあうとともに、新たな発見に出会う機会としてください。

委員一同、より多くの方の参加をお待ちしています。活動日:原則、毎月第4月曜日19時から 協会事務局または会議室にて開催
その他メールリストにて意見・情報交換
(委員長:田中秀和 hide-kazu-0285@maia.eonet.ne.jp)

■受託開発委員会

<主な活動内容>

兵庫県内の中小企業支援機関や民間企業からの業務を受託し、会員に仕事機会を提供する。

<主な活動内容>

兵庫県、神戸市、(公財)ひょうご産業活性化センター、兵庫県信用保証協会、(公財)神戸市産業振興財団、県内商工会議所、商工会、県内金融機関、兵庫県立大学等受託開発センターは以下の活動方針に基づき、受託活動を通じて、県内関係者に当協会および中小企業診断士をよりよく理解いただくことを目標としています。

基本方針:

- ①中小企業診断士としての会員の業務拡大を支援することにより、兵庫県内を中心とした中小企業および関連団体への経営改善に寄与することを目標とする。
 - ②受託内容に応じて、質を担保するために最適な会員を紹介する。
 - ③経験年数の浅い会員に対しても、担保責任の維持を図りつつ、受託機会の提供に努める。
- 活動日:会は2カ月に1回の意見交換とメールリストにて
(委員長:植田訓行 maruujirushi@yahoo.co.jp)

私の駆け出し時代 ②

「5年間で100社支援」を実現



株式会社マーケティングアシストプロジェクト 代表取締役 青木 宏人 さん

現在活躍されている当協会会員も、駆け出し時代は様々な苦勞をされてきました。「今だから話せるエピソード」も織り交ぜながら、そうした苦勞話や飛躍のきっかけ、後進へのアドバイスなどを広報委員が伺います。2回目は、今年独立9期目の青木宏人さんです。

—サラリーマンから独立に至ったきっかけを教えてください。

新卒で入社したパチンコ機器メーカーの営業職としてやりがいを感じて仕事をしていましたが、30歳前に、自分は営業のことしか知らないという危機感を持ちました。そこで経営などの知識を学べるのではないかと思います、中小企業診断士の資格取得に向け勉強を始めました。その過程で、コンサルティング業に魅力を感じ、合格したらコンサルタントとして独立しようと思ったのです。

—2007年4月の診断士登録直後に独立をしたのでしょうか？

いいえ。1年間はサラリーマンを続けながら、独立に向けての準備をしていました。診断士協会の研究会や、インターネットで検索した外部の勉強会などに積極的に参加し、人脈作りとコンサルティング実務を学びました。兵庫県中小企業診断士協会のプロコン育成塾(3期生)にも参加し、第一線で活躍している先生方にご指導頂きました。独立は2008年4月です。

—独立当初は、どのような状況でしたか？

独立に際しては、「パチンコ業界以外のコンサルティングをする」「安易に安定を求めない」という方針を持ちました。ですから、安定的な収入を得られる仕事でも、方針と異なる仕事は断っていました。生意気なのですが(苦笑)。ただ、最初からコンサルティングの仕事があるわけもなく、売上が月8万円の時もありました。強がってみたものの自分の方針が正しいのかと、悩む毎日でした。

—それをどのように乗り切ったのでしょうか？

独立2年目に、自分を見つめ直しました。そして、自身の強みは「戦略的に物事を考える力」ではないかと仮説を立てました。実は、中高時代に本格的に将棋をやっておりまして、全国大会に8回出場した経験があります。将棋とは、序盤戦は戦法を練り、中盤戦は駒を取ったり取られたりのねじりあい、終盤戦では相手よりも早く玉を詰めるというゲームです。これはまさに、企業経営に通ずるものがあると感じました。そこで、自身の支援テーマを「戦略立案と実行支援」に決めました。そして、「知的資産経営」と「バランススコアカード」とい

う支援手法を武器にすることを決めました。

—これまでご自身で勉強をされていたテーマに絞られたわけですね。

はい。この2つのテーマを組み合わせさせて支援をしようと思い、5年間で100社支援の目標を立て実現しました。自分は能力が高くないので、テーマと手法を絞ることで支援スキルを上げようと考えたのです。コンサルティング仲間からは「戦略のテーマは難しい」とか「そんな手法は通用しない」など色々と厳しいことを言われました。でも、100社支援してみても成果がでなかったら違うことをやろうと、まずは行動に移しました。結果、100社支援することで、このテーマでの仕事が入ってくるようになり、コンサルティング能力も少しずつ上がっていったように思います。

—非常にストイックな青木さんですが、普段の時間の使い方を教えてくださいませんか？

平日・週末問わず、起床は午前4～5時です。朝は、メールチェックが終わると、出社まで研究テーマの読書に充てています。毎日1～2件コンサルティングを行い、1日16時間ほど仕事に関することを考えています。そうしないとコンサルタントの世界では生きていけないからです。独立してから他者との能力の差を感じていて、それを補うには粘り強く努力をするしかありません。時間が長ければいいわけではありませんが、「仕事は人の2倍やる」これを心がけて日々を過ごしています。

—最後に、駆け出し中の診断士にメッセージを頂きますようお願いします。

愛読している稲盛和夫氏の「成功への情熱」という書籍にもあるのですが、仕事の成果は、「能力」と「熱意」と「考え方」の掛け算であることを理解して取り組むことだと思います。「能力」に甘んじることなく「熱意」を持って努力を続け、困難に遭遇した時にも前向きな「考え方」を持つということです。仮に、現時点で能力が高くないとしても、誠実に粘り強く努力を続けることで能力は少しずつ上がると感じます。童話「ウサギとカメ」のカメを自認している私でも、独立して何とか生きていますからね(笑)。

(インタビューー 広報委員会 嶋えりか)

委員会報告

1月～5月

● 会員研修委員会

委員会開催日	主な議題
1月25日(月)	平成28年度予算検討、日銀セミナー事前準備について
2月22日(月)	平成28年度事業方針の検討、wasshi(わっしょい)運営について
3月28日(月)	平成27年度事業活動の収支、総括
4月25日(月)	平成28年度運営体制、イベントの検討、調査研究事業採択
5月23日(月)	平成28年度の運営体制・活動内容の決定

【事業報告】
27年度は、従来の活動に加え、会員診断士スキルアップセミナーをスタートさせました。28年度も引き続き、企業内診断士の方を含め、より多くの協会会員が参加できる企画を目指します。皆様の積極的な参加をお待ちしています。

● 受託開発委員会

委員会開催日	主な議題
2月 9日(火)	平成27年度・受託案件の実績集計：保証協会の診断案件の大幅追加を主要因に、各案件とも好調につき、予算を大幅に上回る実績となる見込み 平成28年度・受託案件の予算作成：案件ごとに受託見込みを設定して集計、ほぼ27年度実績に近い水準にて予算を作成 平成27年度は、予算を大幅に上回る実績となった。平成28年度は、新たな体制となるため、内部の運営体制も協議した。
4月12日(火)	平成28年度について、各担当者からのヒアリングによると昨年同様若しくは昨年実績を少し上積みできる実績を獲得できる模様である。特に兵庫県信用保証協会専門家派遣、(公財)ひょうご産業活性化センターの技術経営力評価事業が実績獲得に寄与している。

● 総務委員会

委員会開催日	主な議題
1月12日(火)	平成27年度経営診断実務研修の収支決算について 協会の各種規定の改定について 平成28年度協会行事スケジュールについて 第5回社員総会議案書の作成日程について
2月 9日(火)	第5回社員総会議案書の準備スケジュールについて 協会の各種規定の改定について 新入会員歓迎会、ガイダンス等スケジュールについて
3月15日(火)	平成27年度の収支見通しについて 平成28年度総務委員会事業の総括と事業報告案について 平成28年度総務委員会事業計画について
4月12日(火)	平成28年度の総務委員会運営・役割分担について 第5回社員総会(H27年度決算・H28年度予算)について 平成28年度新入会員歓迎会・ガイダンスの運営について 平成28年度理論更新研修の運営体制について
5月10日(火)	第5回社員総会・懇親会の運営・役割分担について 平成28年度理論政策更新研修について 新入会員ガイダンス・歓迎会について 平成28年度経営診断実務研修事業について

【事業報告】
・平成27年度は、創業補助金の地域事務局をはじめ、協会関係者各位の堅実な活動の結果、会員数が20名増加しました。また、平成27年度決算も黒字収支となりました。
・「2016年版 業種別業界情報」「第13次 業種別審査辞典」を購入しました。事務局にて閲覧できますので、ご利用される方はお電話にてご一報の上お越しください。

● 広報委員会

委員会開催日	主な議題
2月 8日(月)	平成28年度診断ひょうごの企画について、ホームページの見直し、展示会出展について
3月15日(火)	新年度方針・予算検討、展示会出展について
4月11日(月)	診断ひょうご6月号号内容検討、展示会出展に関する検討
5月17日(火)	診断ひょうご6月号号校閲、展示会出展に関する検討

【事業報告】
今年も、国際フロンティア産業メッセ出展に向けて準備を進めています。

ニュース

■ 人材育成事業が終了

「中小企業診断士の人材育成事業(会員研修事業セミナー)」が、昨年7月から今年2月まで10回にわたって開かれた。公的支援機関の業務経験者を講師に、公的支援機関が求める中小企業診断士のスキル向上を図ることを目的にしたもので、延べ200人を超える会員が受講生として参加した。

■ ファシリテーション研修会



「レストラン貸切で行うファシリテーション研修会」が3月5日、神戸市のレストラン「ボナ トリーチェ」で開かれた＝写真＝。充実した会議をリードするための技術「ファシリテーション」

を実践し習得するということで、約40人が参加した。講師は、西井進剛氏(兵庫県立大学経営学部教授)と佐野佐知子氏(日本ファシリテーション協会会員)。「診断士協会会員向けスキルアップ研修の企画を考えるために会員にヒアリングする」というストーリーで、グループワークを行った。

■ 企業内診断士まつり

第4回企業内診断士まつり「wasshoi(わっしょい)」が、3月12日(土)に兵庫県民会館で行われた＝写真＝。この

催しは、企業内診断士が企画・運営する企業内診断士のためのイベントで、今年は44人が参加、半数が初参加だった。

講演の後、参加者によるグループディスカッションを行い「豊岡劇場を盛り上げる方法」を課題に、7チームに分かれて話し合いと発表を行い、相互審査の結果、高得点だった2チームに商品が贈られた。

■ 青年部合同フェスタ

第5回ひょうご青年合同フェスタ(青年部会主催)が3月17日(木)、神戸市産業振興センター内の「神戸食堂 はあとす。」で開かれた。若手経営者や経営幹部が、ビジネス上の課題・悩みについて話し合い交流することが目的の会で、青年部員を含めて34人が参加。課題解決ダイアログ(対話)と懇親会で親交を深めた。

■ 調査研究事業にもものづくり&SCM研究会を採択

調査研究事業の募集に3件の応募があり、以下の案件が採択された。

- ・グループ:ものづくり&SCM研究会(責任者:三村光昭氏)
- ・テーマ:製造業の発注側ニーズの変化を把握し、収益改善・販路開拓につながる中小企業の戦略についての調査研究

